

東北総合スポーツ大会陸上競技

暑熱対策に関する事前周知

大会は、選手・審判・関係者・観客の安全確保を最優先として運営し、猛暑・高温下における健康被害を未然に防ぎ、熱中症ゼロを目指して対応いたします。

大会運営にあたっては、WBGT（暑さ指数）を基本指標とし、気温、湿度、日射、風速等を総合的に評価したうえで、日本陸連の指針に基づき競技の実施可否を判断します。

つきましては、各参加チームにおかれましても、下記の事項について選手・指導者への周知徹底をお願いいたします。

記

- 1. 大会運営について** 当日の気象状況等により、競技日程、競技順序、競技方法等を変更する場合があります。
- 2. WBGT31℃以上の場合の対応について** WBGT 実測値が 31℃以上となった場合は、競技を中断・中止を検討いたします。
- 3. 選手の体調管理について** 各選手において、十分な睡眠、食事、暑熱順化等を含む事前の体調管理を徹底してください。競技前後を含め、熱感、頭痛、めまい、吐き気、悪寒、強い疲労感、ふらつき等の症状がある場合は、無理をせず申し出るようご指導ください。
- 4. 給水・身体冷却について** 競技前、中、後を通じて、こまめな水分補給および身体冷却を徹底してください。主催者が設置する日陰・冷却エリア等の活用に加え、各チームにおいても必要な対策にご協力をお願いします。
- 5. 異変を感じた場合について** 選手本人または周囲の者が異変を感じた場合は、速やかに競技役員または医療スタッフへ申し出てください。

本大会は、主催者による対策に加え、参加チームおよび選手一人ひとりの理解と協力が不可欠です。

安全な大会運営のため、趣旨をご理解のうえ、周知徹底にご協力くださいますようお願いいたします。